

事業完了報告書（実行団体）

事業名:	(仮称) 人吉マンガ図書館を作り復興支援
資金分配団体名:	一般財団法人日本未来創造公益資本財団
実行団体名:	特定非営利活動法人熊本マンガミュージアムプロジェクト
実施時期:	2021年4月～2022年2月
事業対象地域:	熊本県
事業対象者:	マンガ図書館来場者：550人 作業者：9人

Version 3.2

日付： 2022年3月10日

I. 事業概要 500字

事業実施概要	<p>令和2年7月豪雨水害にあった人吉市への復興として、人吉市まち・ひと・くらし総合交流館へマンガ図書館を設立し、中心市街地の復旧・復興と併せ街並み再生と賑わい創出に貢献する目的として当事業を実施しました。当団体が所有するマンガ10万冊のうち5,000冊の整理整頓、リスト化、正本・複本化についてはコロナ禍の雇用が不安定な障がい者の方へ雇用を提供し、人吉市への発送の後は寄託を希望する九州一円の施設への発送作業を行い、コロナ禍の遠方へ外出できない方々への娯楽提供を予定しました。</p> <p>実績として2021年12月20日にひとよしマンガ図書館をオープンし、人吉市の観光資源として貢献する事ができました。他の施設として、2016年熊本地震の被災地である大津町の廃校矢護川小学校にマンガ図書館オープンの為の寄託、佐賀県唐津市放課後学級ミライエへ1000冊寄託準備が進んでおります。働く場所のない障がい者も雇用を9名創出し、内1名は一般企業へ就業するなど、働き甲斐と社会復帰に向けての手法を確立しました。</p>
--------	--

II. 課題・事業設計の振り返り 500文字

課題設定、事業設計に関する振り返り	<p>被災地である人吉市へマンガ図書館を設立するという課題については、新型コロナの影響で時期は延びましたが12月20日にオープンすることで達成できました。元々温泉地として観光資源はありましたが、オールシーズンの観光名所として、「夏目友人帳」の聖地巡礼の出発点として、これからも人吉市の観光資源の一つとして活用頂けるものとなります。更に他の遊休施設を活用するお話も頂き、これからも人吉市の復興に尽力していきたいと存じます。もう一つの課題である障がい者の雇用を確保する目的でマンガ整理を仕事とする事業設計は、当初7名は確保しましたが、希望者が50名程あった為、もっと障がいのある方へ働ける環境・財源を整備して行く必要があると痛感しました。精神障がいのある方だけではなく、知的障害のある方、聴覚障がいの方にも有効な雇用であると実績も出てきたことより、連携団体が就業支援A型作業所を設立してより多くの障がいのある方の就業支援を進めるきっかけとなりました。また、8050問題、ひきこもりの方の社会復帰の第一歩としての就業先としての活用もできました。当団体は引き続き被災地復興や地域活性化にマンガを活用する自治体へマンガを寄託できる体制を継続したいと存じます。</p>
-------------------	--

III. 今回の事業実施で達成される状態（アウトプット）※複数設定の場合はコピーし複数記載ください。

①受益者	②課題	③今回の事業実施で達成される状態（アウトプット）	④指標	⑤目標値・目標状態	⑥結果	⑦考察
中間支援者	連携の不足	人吉市：人吉マンガ図書館オープン	オープン月と閲覧可能冊数	12月20日 2300冊 でオープン	12月20日 2300冊 でオープン	時期はコロナ長期化の影響で人吉市より時期延期の申し入れがありました。冊数は陳列棚の限度が2300冊だった為です。
障害者	就業困難	障がいのある方の雇用確保	現在無職で、雇用を求める障がい者の雇用数	常時雇用7名 延べ9名雇用	常時雇用7名 延べ9名雇用	募集7名に対し、50名程の希望見学者があり、1名が一般職企業就職の為卒業しました。他にひきこもりの方の希望もありました。
その他	その他	マンガ蔵書10万冊の整理整頓	マンガの整理整頓・リスト化・発送する冊数	整理整頓5000冊 リスト化3000冊 発送3000冊	整理整頓5000冊 リスト化3000冊 発送3000冊	発送は陳列棚の限度が2300冊だったためです。

IV. アウトカム（事業実施以降に目標とする状況）*

事業実施以降に目標とする状況	熊本日日新聞によるメディア露出、熊本県庁観光交流政策課企画のKumaラボ参画、熊本県庁・熊本大学・熊本日日新聞主催の「くまもとマンガ協議会」参画等、ALL熊本でマンガを通して地域活性化・観光資源を作る動きが出てきた為、必要とされる場所へマンガを提供する体制作りが今後の目標となります。
考察等	行政、大学、企業などの連携が得られやすくなり、メディア露出による認知が進んだため寄贈マンガが1万冊近く増え、当初の蔵書10万冊を含めますますのマンガ整理の人員確保が必要になってきました。同時に寄託先として佐賀県唐津市ミライエ、大津町矢護川小学校跡地など候補も出てきており、障がい者の雇用先として継続できる環境は整ってきたが引き続き財源を確保することが課題となります。

V. 活動

活動	進捗	概要
・蔵書10万冊のマンガの整理整頓	計画通り	5000冊の整理整頓はできましたが、メディア露出などにより新たに寄贈マンガが1万冊ほど増えました。
・マンガのリスト化	計画通り	3000冊のリスト化は完了。
・アーカイブ保存用の正本・複本	ほぼ計画通り	複本化を中心に進みました。
・余剰マンガのリスト化（寄託用マンガ）	計画通り	3000冊のリスト化は完了。
・人吉市役所と人吉市まち・ひと・くらし総合交流館へマンガ図書館オープンの諸手続き	遅延あり	9月 ⇒ 11月 ⇒ 12月とコロナ長期化により延長しました。
・人吉市まち・ひと・くらし総合交流館への発送手続き・梱包	遅延あり	9月 ⇒ 11月 ⇒ 12月とコロナ長期化により延長しました。
・寄託先の選定	計画通り	大津町矢護川小学校跡地（ワンピースプロ像設置に伴う）、佐賀県唐津市 ミライエ
・寄託先への発送手続き・梱包	計画通り	2月実施。

VI. 想定外のアウトカム、活動、波及効果など

想定外のアウトカム、活動、波及効果など	熊本県観光交流政策課企画のKumaラボにおいて人吉マンガ図書館が人吉の拠点として運用され、熊本県・熊本大学・熊本日日新聞主催の「くまもとマンガ協議会」において定期的な勉強会・会合を実施することにより、熊本県広域においてマンガを活用して地域振興、観光資源を構築する体制が築けました。また、4月29日に令和2年7月豪雨水害チャリティマンガ譲渡会、10月25日にマンガ県くまもとシンポジウム、12月20日に人吉マンガ図書館オープンなど、メディアに露出する機会が増えたことでマンガの寄贈が増え（約1万冊）、マンガを地域活性化に活用しようとする自治体からの要望も多く受けるようになりました。
---------------------	--

VII. 事業終了時の課題を取り巻く環境や対象者の変化と次の活動

課題を取り巻く変化	マンガを寄贈頂くメディア露出、マンガを地域活性化、観光資源に考える自治体のニーズを得られる環境は得られましたが、整理整頓、リスト化、正本・複本化、発送手続きを行うマンパワーが不足しています。その活動をボランティアに頼るには人的資源が乏しく、精神障がい者の雇用として活用した今回の取り組みは効を奏しましたが、来年度以降の財源確保が課題となります。精神障がい者だけでなく、知的障がい者、聴覚障がい者にも雇用の機会があり、更にひきこもりの方の社会復帰の第一歩として活用する機会も得られたことにより、継続できる体制作りが必要と感じられます。被災地人吉市にも拠点となる人吉マンガ図書館もオープンしたことにより、継続して復興支援を実施していきます。
-----------	--

VIII. 他団体との連携

連携先	実施内容・結果
熊本県観光交流政策課	Kumaラボ 連携 「くまもとマンガ協議会」メンバー。観光拠点の創出。
熊本大学	「くまもとマンガ協議会」メンバー。マンガを活用した学問構築。
合志市	合志市社会福祉協議会と協議しながら、障がい者、ひきこもりの雇用確保
人吉市	人吉マンガ図書館オープン。人吉市の観光拠点として継続支援。
熊本日日新聞	「くまもとマンガ協議会」メンバー。定期的なメディア発信協力。

IX. インプット ※事業完了月の月次収支管理簿の金額を入力ください。（精算金額と一致させる必要はありません）

		計画額	実績額	執行率
事業費	直接事業費	8,750,000	8,723,685	99.7%
	管理的経費	1,250,000	1,244,733	99.6%
合計		10,000,000	9,968,418	99.7%
補足説明				

X. 広報実績

広報内容	内容
1.メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等）	熊本日日新聞（2021.4.18）学童保育に寄託記事（2021.4.26）人吉マンガ図書館設立へ（2021.8.27）マンガ県くまもと（2021.10.26）くまもとマンガ協議会（2021.12.21）人吉マンガ図書館オープン（2021.10.2～2022.1.22）橋本博のマンガ漫遊記 ⑭人吉マンガ図書館 西日本新聞（2021.12.21）人吉マンガ図書館オープン TKC（2021.4.29）令和2年7月豪雨水害チャリティーマンガ譲渡会（2021.10.25）くまもとマンガ協議会（2021.12.20）人吉マンガ図書館オープン NHK（2021.12.20）人吉マンガ図書館オープン
2.広報制作物等 当該事業費を使って制作したもの	災害支援用強化段ボール本棚（シンボルマークのシール添付）
3.広報制作物、購入物等でシンボルマークの活用方法（事例）	災害マンガセット、搬入、搬出用の強化段ボール本棚にシンボルマークのシールを貼ってPRしました。また、人吉マンガ図書館にもシンボルマークのシールを貼ってPRしました。
4.報告書等	文化庁 令和3年度メディア芸術連携基盤等整備推進事業分野別強化事業 にて報告書を提出しました。

XI. ガバナンス・コンプライアンス実績

①規程類※の整備実績 ※規程類：定款・規程及び準ずる文書類(指針・ガイドライン等を含む)	状況	内容
1.事業期間に整備が求められている規程類の整備は完了しましたか。	完了	
2.上記設問1で「整備中」の場合は、事業開始時と比較して、整備状況がどのように改善されたかを記載してください。		
3.整備が完了した規程類を自団体のwebサイト上で広く一般公開していますか。	一部未公開	
4.変更があった規程類に関して資金分配団体に報告しましたか。	変更があり報告済	
②ガバナンス・コンプライアンス体制	状況	内容
1.社員総会、評議員会、理事会は、規程類の定める通りに開催されていますか。	はい	
2.利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。	はい	
3.関連する規程類や資金提供契約の定めどおり情報公開を行っていますか。	はい	
4.コンプライアンス委員会またはコンプライアンス責任者を設置していましたか。	はい	
5.ガバナンス・コンプライアンスの整備や強化施策を検討・実施しましたか。	いいえ	
6.報告年度の会計監査はどのように実施しましたか。 (実施予定の場合含む) (複数選択可)	<input type="checkbox"/> 外部監査	
	<input type="checkbox"/> 内部監査	
	<input type="checkbox"/> 実施予定はない	
7.本事業に対して、国や地方公共団体からの補助金・助成金等を申請、または受領していますか。		
8.内部通報制度は整備されていますか。	はい	JANPIAの窓口利用